エレナ・レーリヒの手紙

1929年3月1日

近づきつつある偉大な新時代は女性が優位に立つことと密接な関係があります。人類の全盛期にそうだったように、未来の新時代にも再び女性に正当な地位が、永遠の同行者であり同僚である男性と同じように、差し出されるでしょう。よろしいですか、遠大な宇宙は２重の起源によって作られたのですよ。ですから、２重の起源の一方だけを見くびることなどできるでしょうか？

現在の、そして来るべき窮状と大規模な宇宙的大変動は全部、女性を隷属させ卑下した結果です。恐ろしいほどの道徳性の衰退と、病気と、ある国々の退廃もまた、女性の隷属に起因します。女性は人間の最大の特権つまり創造的な概念と建設的な仕事に完全に参加する権利を、奪われています。女性は社会や国家を築くことに自分の能力を表すことが許されません。そうすることは女性にとって宇宙的な法則であり権利であって、女性は十分資格のある構成員ですのに。女性の奴隷は世界に奴隷しかもたらせないでしょう。「偉大な母に偉大な息子」ということわざは、宇宙的・科学的根拠があるのです。息子はだいたいが母に似て、娘は父に似るのを見ても、宇宙の正義は偉大です！ 女性に屈辱を与えることで、男性は男性自身を屈辱するのです！ このことは今日の男性に才能がないことの説明となります。

両方の「起源」がもしバランスを保っていたら、今日起きている犯罪や恐るべきことはあり得たでしょうか？ 人類と私たちの地球が救われるかどうかは女性の手にゆだねられているのです。女性は自分たちの重大さと、「世界の母」の使命を、理解せねばなりません。人類の運命に責任を負う覚悟を、女性はすべきなのです。生命の与え手である母は、自分の子供たちの運命を教え導く、あらゆる権利があります。女性の声は、人類のリーダーたちへと届くべきです。母親は自分の子供に、最初の意識的な思考をほのめかします。その子の熱望と才能のすべてに方向性と高い質を与えるのです。ですが、教養の概念を持たない母親は、人間性の低い表現しかほのめかせません。

知識と美へと奮闘努力する女性、自分の高尚な責任をよく知っている女性は、生命の全段階を大いに高めるでしょう。すべての国々を退廃と破壊に追いやる、胸の悪くなるような悪徳は、居場所を失うでしょう。

でも女性は、教育のために努力しているとき、すべての教育の制度はより高度な知識と修養をみがく手段にすぎないということを忘れてはなりません。まことの思考の訓練は、霊とハートの修養により為されるのです。このようなコンビネーションだけが、宇宙の進化における本当の崇高さと多様性と人生の複雑さを悟ることを不可能とすることなく、大いなる総合性を生むことができるのです。ですから、知識を得ようと努力しながら、女性は光の根源と霊の指導者たちを憶えておきましょう。まことに、人類の意識を創ったこれらの偉大なマインドたちを。この根源、この導く原理に近づきながら、人類は真の進化の道を見つけるでしょう。

そして、女性とはこの導く原理を知って、宣言すべき存在です。なぜかと言うと、そもそもの最初から女性は、見える世界と見えない世界という２つの世界を結びつける役目に選ばれたからです。女性は、神聖な生命のエネルギーを持っています。来たるべき時代はこのあまねく存在するエネルギーについての知識をもたらします。このエネルギーは人間の精神によるすべての不滅の創造の中に現れます。

西洋の女性は目覚め、そして自分の力を理解するのです。彼女の文化的な貢献はすでに歴然としています。けれども西洋の女性の大多数は、何に対しても初心者がそうであるように、最初は模倣で始めます。もともとの（オリジナルな）自己表現の中に、真実の美と調和は見つかるものなのですが。私たちが、男らしい美しさを失った男性を見たいと思うでしょうか？ 美のセンスを持った男性も、女性についてそう思います。男性は本当に、女性が自分たち男性の習慣をまねしたり、悪習慣を競ってやったりするのを見たいとは思いません。いつでも、模倣で始めるのはたやすいのです。でも、この最初の段階をすぐに通り過ぎて、女性が「母なる自然」の知識を深め、本当の、もともとの（オリジナルな）自己表現の方法を見つけることを願います。宇宙は、法則の統一性をはっきり示しますが、多様性を再現することはありません。ではなぜ人間だけは、統一性に向かって努力しながら、同時に法則の統一性の基礎を踏みにじろうとするのでしょう？ 知覚の同質性、生命の同質性、そして特に思考の同質性を人は大切にします。表現の同質性は停滞と死に導くということは、忘れられています。生命とその力は、絶えざる形態の変化の中にあります。この生命を与える原理を、私たちの人生の表現すべてに適用することが必要です。

すべての時代、すべての国の、最も美しい勇者のイメージを集めましょう。そして私たちの時代には彼らが奇妙に見えることを考慮した上で、創造的なイマジネーションによって彼らの偉業を生活の中に応用しましょう。そのような模倣だけが、さらに先へ前進するための正しい基礎を与えてくれるでしょう。

締めくくりに「人生の教え」からの１ページを、女性への私の呼びかけとして挙げましょう。

「国々が分裂（disunity）を始めたら、その結果は自滅であった。調和に立ち返ることだけが、この自滅を阻止できる。人類は正しい釣り合いのもとに創造性の原理を応用しない。そしてそれゆえに、存在の基礎を侵害する。宇宙磁石の法則により、低い形態が高い形態の下位に置かれる時、それはただ変質されるべきエネルギーの問題である。しかし２つの起源が、創造および生命を与えるために呼ばれる時、2つのうち1つの起源を排除するならば、自滅は避けられない。したがって、人生において両方の起源が肯定されてはじめて、人類の本当の進化は始まるだろう。２重の起源の理解がない根本原理はすべて、不均衡を増すだけである。人類は宇宙磁石の法則を理解しなければならない。生命の基礎である２重の起源の雄大さを理解することで、進化のために多くのことを為すことができる。」

この簡潔な真理ですら、まだ人の意識の中にありません！ 科学者つまり生物学者、化学者、物理学者は、2重の原理または両極性についての真理を知らねばなりません。でも彼らは黙しています。さらにこのような真理の最も神聖で重要な応用することが嘲笑され、強力な利己心の権利が支配力を振るっています。困ったことに、人のマインドはそれ自体の根源である宇宙のマインドとのつながりを断たれています。宇宙の１部を成しているのに、人間は自分と宇宙との連帯、合一がわかっていないのです。それに、自然界の現れを観察しても、自分への類似は何も示唆されないのです。けれども人間性の観察と比較だけが、人生の神秘の手がかりを見つけることを可能にし、その故に日常生活のたくさんの問題を解決できます。人々はおうむのように、お気に入りの古い決まり文句「小宇宙は大宇宙の縮図」を繰り返し言うのが好きです！ その意味に正しく注目せずに、何度も何度も繰り返し、言われて来ました！ 強制的な教義、人間の法律、人生の規格が、人類に思考の過程を顧みなくさせてしまったのです。そして人間の心は、珍しい例外も含め、自動のロボットになってしまいました。誰もがさまざまな自由を唱えていますが、最も自由と正反対の概念の流儀は、ある事と一致します。それらは皆、思考の自由を恐れるということです！

ですから女性は全人類のために、女性の権利だけでなく、女性自身が自由に思考する権利も守らなければなりません！ 思考の発展によって、私たちの能力は広がるでしょう。最も広い、最も清らかな思考で考えましょう。次のように言われています。

「世界は王位や主観からなっているのではない。宇宙の思いにより創造されたのだ。私たち自身の都市、国々、惑星を創ろう！ ただしこのような思考を、ハートにより創ろう。ハートから生まれた思考だけが、生命があるのだから。ハートは最も強力な〈宇宙の磁石〉である。あらゆる宇宙のエネルギーはハートに引きつけられ、ハートはそれらを吸収する。ハートは人生であらゆる熱望を表す。空間の火はハートに引き寄せられ、宇宙の全過程がこの原理の上にある。したがって、宇宙はハートの引力の中に存在する。ハートの引力に根ざしたエネルギーだけが、生命がある。このように、無限に、生命の連鎖はハートにより築かれる。」

ハートの音を聞きましたか？ あなたのハートはあなたがたすべてを抱擁する「完全なハート」に共鳴してリズムを打ちますか？

このように、ハートについての言葉で締めくくりましょう。人生の全体を輝かしいものにできるこの偉大な象徴を、女性に断言させましょう。人類の霊的生活を変質させるよう女性に努力させましょう。

母、生命の与え手、生命の守り手である女性をさらに、「母」、「リーダー」、「すべてを与える人」、「すべてを受け取る人」にしましょう。